



# 健康の輪



編集●全国結核予防婦人団体連絡協議会事務局(結核予防会普及広報課内) 題字●初代会長 廣瀬勝代

## 資金寄附者感謝状贈呈式並びにお茶会



平成25年5月20日リーガロイヤルホテル東京(東京都新宿区)において、結核予防事業資金として結核予防会に多額のご寄附をくださった個人や団体の方々に、秋篠宮妃殿下より感謝状が授与されました。



また、記念写真とお茶会が行われ、資金寄附者の方々とごやかなひとときを過ごされました。

## 結核研究所国際研修生との御懇談



国際研修生にお言葉をかけられる秋篠宮妃殿下

平成25年7月10日秋篠宮邸にて、平成25年度「MDGs達成及び結核征圧に向けた結核対策強化コース」11カ国15名の国際研修生との御懇談が開かれました。

## 第10回アジア太平洋タバコ対策会議 (APACT2013)



ウェルカムパーティー御臨席の御様子

平成25年8月18日～21日まで幕張メッセ国際会議場(千葉県)において、「タバコのない社会をめざして」第10回アジア太平洋タバコ対策会議が開催されました。

秋篠宮妃殿下におかれましては、18日に行われたウェルカムパーティー及び19日のシンポジウム「タバコに起因する病気 結核と喫煙」に御臨席になりました。

## 厚生労働省表敬訪問

平成25年度の複十字シール運動にあたり、7月30日に厚生労働大臣（佐藤健康局長が対応）に表敬訪問いたしました。全国結核予防婦人団体連絡協議会は、中畔会長、結核予防会からは、長田理事長・藤木事業部長・山下事業部顧問・市川普及広報課長が出席されました。

まず、全国一斉大臣表敬訪問と決議宣言についてご理解いただき、全国結核予防婦人団体連絡協議会の活動についてもご説明いたしました。

また、結核対策については①高齢者の結核対策②被災地の結核対策③結核死が2,000人毎年出ているこ

と等の問題について国として調査研究し改善していただきたいと要望しました。加えて、8月1日から始まる複十字シール運動キャンペーンに厚生労働省からの支援を要望いたしました。



## 県知事表敬訪問

宮婦連健康を守る母の会  
会長 三浦 絢子



結核や肺がん、COPD等の胸部疾患をなくし、健康で明るい社会をつくるための複十字シール運動が8月1日から始まるに先立ち私は、3名の副会長と事務局長と、結核予防会の方々と一緒に、村井嘉浩宮城県知事を表敬訪問しました。

村井知事は、公務出張のため留守でしたので、三浦秀一副知事とお会いいたしました。

三浦副知事は、にこやかなお顔で「ご苦労様」と労いのお言葉をかけて下さいました。結核予防会の堀村専務理事が、次のようなことを話されました。「結核は、日本の主要な

感染症であり、世界各国と比較しても新患者が発生している中蔓延国であること、罹患率も宮城県は、全国で2番目の低さであること、若年層では、外国籍の患者が拡大している



こと、大阪などの大都市に多いこと、また、感染者が高齢化していること」などを話されました。

私は「結核は、昔の病気とされているが、若い時に罹患した人が高齢となり、免疫力の低下と共に発病することを話し、県内に結核病棟をもっている病院は、1ヶ所しかないと訴え、だから受診率を高めていかなければならない」と話しました。

世界共通の複十字シール募金額は、宮城県が全国で5位以内であることも。60年以上も続いている複十字シール活動です。しかし、今は手紙を書くことも少なくなり、年賀状もメールという時代です。

「何とか結核をなくすために、宮婦連の会員たちも受診率をあげるための啓発活動やシール募金活動を行っていますので、県庁職員の方々のご協力をお願いしたいと申し上げましたところ「みんなで力を合わせて頑張っていきましょう」という温かいお言葉をいただきました。

## 複十字シール運動に係わって

富山県婦人会  
結核予防推進委員長 高畑 百合子



私が複十字のマークを見たのは23歳。嫁いで間もない頃、義母から「必要なら使って」と3枚の封筒をもらったのです。そこに印された卍のマークが温かい膨らみをもって浮き出ていました。

当時は全戸が婦人会に加入し、女性の活動の場となっていました。若かった私も母に代って運動会に参加

したことがあります。

長い年月を経て、私も婦人会の役員となり、富山県婦人会では、結核予防推進委員長を務めています。

去る8月7日、結核予防会富山県支部と富山県結核予防婦人会が、県庁に山崎康至富山県厚生部長を表敬訪問しました。結核予防に向け募金を呼び掛ける「複十字シール運動」をPR、また、結核の現状等の報告があり、厚生部長に募金をしていただきました。岩田繁子会長と募金箱を持つ私が並んで立つ写真と記事が新聞に掲載され、何人もの人から「頑張ってるね」と励ましの言葉をいただきました。

今回の訪問は、結核予防会は昭和14年に当時の皇后陛下の令旨に基づき設立され、その翌年に富山県支部が設立。以来結核制圧のため

に取り組んできたこと、複十字シール運動は、世界約80ヶ国で行われており、結核の制圧と予防に貢献していることなど、その活動の偉大さを改めて感じる機会となりました。

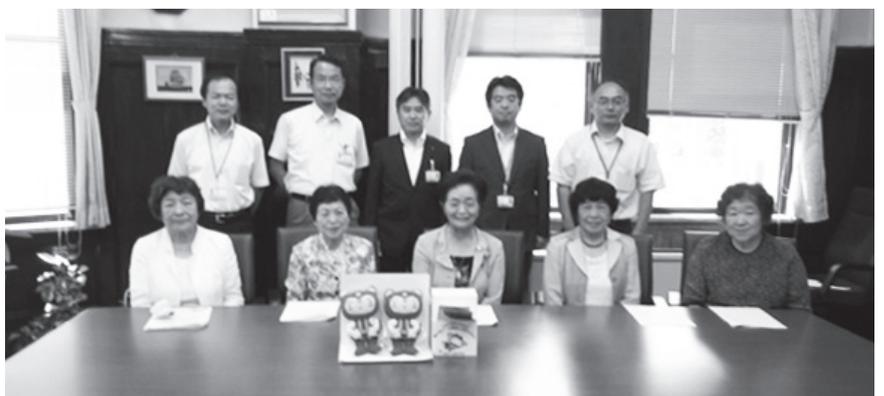
ほかにも、富山県では、毎年10月に「いきいきとやま・健康と長寿の祭典」が長年開催されており、私たち婦会も結核に関するパネル展示や啓発資材の配布と募金活動を行っています。

また、平成21年度には第12回秩父宮妃記念結核予防事業功労賞(団体)を受賞しています。先輩諸氏の活動に敬意を表するとともに私の責任を痛感しています。

今後とも微力ながらがんばっていきたいと思います。皆様のご協力よろしくお願いたします。



平成25年8月7日(水) 複十字シール運動知事(厚生部長)表敬訪問



後列左から、中川経営部長(支部)、能登所長(支部)、山崎厚生部長、井内厚生部次長、今井健康課長  
前列左から、富山県結核予防婦人会の岩田会長、小路副会長、辻副会長、高畑結核予防推進委員長、横澤事務局長

岡山県結核予防婦人会・  
岡山県愛育委員連合会  
会長 藤本 貴子



8月1日からの全国一斉複十字シール運動に先立ち、毎年行っている知事への表敬訪問を今年は7月29日に公益財団法人結核予防会の岡山県支部である岡山県健康づくり財団石川理事長の他、マスコットキャラクターの「シールぼうや」などともに行いました。

この訪問では、まず、石川理事長から表敬訪問した趣旨についてお話し、その後、私が陳情書を読み上げ、第64回結核予防全国大会決議文、宣言書を添えて伊原木知事にお渡

しました。

また、併せて複十字シール運動のマスコットである「シールぼうや」のぬいぐるみと複十字シール封筒のセットを贈呈し、シール運動への理解と協力をお願いしました。

その後、知事から県における結核の現状や対策等をお聞きし、私たちの活動に対する励ましの言葉もいただきました。

私たち岡山県愛育委員連合会は、発足以来、県民の健康づくりボランティアとして、あらゆる世代の人々を対象に地域に根ざした活動を続けており、中でも結核予防活動は、昭和30年に乳幼児を除く全住民を対象とした健康診断を実施することになってから、実施主体である市町村と連携して受診勧奨等に取り組んで

きており、さらに昭和58年に全国結核予防婦人団体連絡協議会の一員にも加わり、複十字シール運動に大変力を入れてまいりました。

また、効果の高い取組のためには、私たち自身の見識を高める必要があると考え、結核の現状や複十字シール運動の意義を正しく理解するため、年1回東京で開催される中央講習会に毎年参加しており、これらの取組への重要性を深く心に刻み込んだ委員たちが、県下各地で催される街頭キャンペーンや地域でのイベント等様々な機会を通じ、結核予防の必要性や複十字シール運動への協力依頼を地域の皆様に力強く訴えて活動をしています。

今回の表敬訪問を通じ、これからも県民一人ひとりの健康や、幸せのため、当会の活動を一層充実させていこうと気持ちを新たにいたしました。

今後、地域の方々の健康づくりのため、様々な取組を行うこととしており、関係各位のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

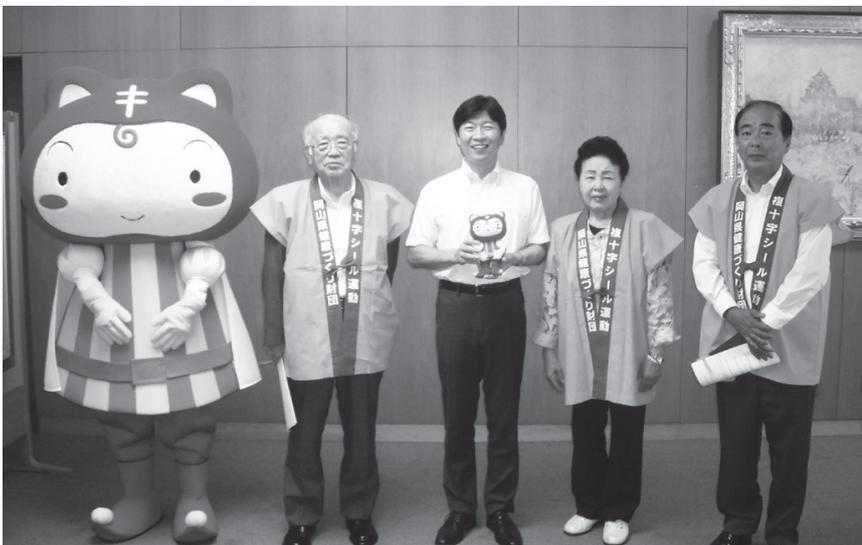
健康を守る佐賀県婦人の会  
会長 三苦 紀美子



結核予防会・健康を守る婦人の会7名で、7月31日に佐賀県健康福祉本部長を表敬訪問致しました。

例年、複十字シール運動の意義を再確認して頂く目的と、県・団体が一体となって結核制圧のための啓発運動を展開する期待を込めての実施です。

今年は、少し明るいオレンジのユニホームにチェンジしてシールぼ



うやと共に訪ねました。本部長も結核に関する知識が豊富で、短時間ではありましたが話はずみ、共通認識の中で有意義に終える事が出来ました。

この日を一步として健康を守る婦人の会は各市町で活発な運動が始まります。以前は、会員だけを対象とした複十字シール募金活動でしたが、地域でのイベントや街頭での募金と呼びかけによる啓発活動に転換しての運動は、広く県民に浸透するようになったと思っています。全国一斉複十字シール運動キャンペーン実施日には役員が出向き、街頭で結

核の早期発見・早期治療を訴え、成果を期待している所です。

しかし、毎年新聞・テレビ等で私達の活動は取り上げられ注目を集めているものの、まだまだ結核は昔の病気だという認識の県民が多く、いかにして他団体との連携による運動の展開を今後推進していくかが課題として残っています。



また、この運動を次世代に引き継いでもらうためにも尚一層会員一丸となつての研修・研鑽も必要であると強く感じているところです。

女性団体として多くの顔を持ち出番のある私達が、子ども達・高齢者等のミニ集會に普及啓発活動を組み入れる事は難しい事ではないと思います。今後、話し合いを進めながら少しずつ方向を広げていきたいと考えています。

シールぼうやはかなりの印象深いPRとなっています。イベント等では勿論のこと、多くの場所で結核予防啓発運動に一役買ってくれるものと信じます。毎日活躍してくれることを期待して、我が会館にも購入する予定です。シールぼうやと共に会館を訪れる人の健康を願って。



# 平成24年度複十字シール募金 結果報告

## ● シール運動 もう一度原点に戻って

平成24年度の募金総額は、297,601,933円となりました。全国の婦人会で約7,200万円(24.2%)を集めていただきました。本当に有り難う御座いました。

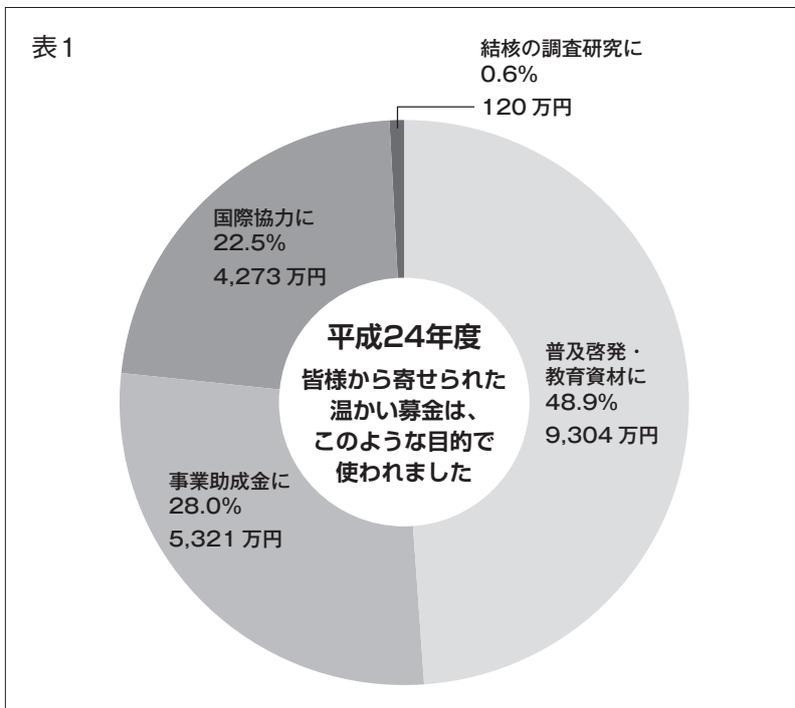
シール運動の目的は、結核予防の普及啓発と募金活動にあります。

結核の普及啓発をうまく伝えることが大切です。結核は過去の病気ではなく、未だに日本の主要な感染症であること。そのためには、全国大会や中央講習会などで常に新しい知識を補充しておく必要があります。そうすると広報活動のときに役立ちます。

複十字シール運動は認知度が低いので、運動の主旨、意義を分かりやすく説明することが重要です。「な



表1



ぜシールなのですか?」とか「シールを印刷するお金をもっと有効に使ったら」とか。その都度、丁寧に分かりやすく説明してあげてください。なかなか、募金にはつながりません。継続は力なりです。

本部では、広報活動用のパワーポイントも用意してあります。役員の方が、一般の会員の方へシール運動を説明するのに役立つと思います。是非ご利用ください。

## ● 募金方法について

下記の方法からお選び下さい。

- ①郵便振込②銀行振込(みずほ銀行・三菱東京UFJ銀行)
- ③郵便切手④クレジット・カード⑤定額小為替証書⑥現金(婦人会・支部へ持参する)等によるものがあります。

▶お問い合わせ先: 普及広報課

0120-416864

(フリーダイヤル)

## イラスト・カット募集

平成26年3月号(健康の輪No.110)に掲載するイラスト・カットを募集致します。

花・動物・その他、何でも結構です。

締切は、平成26年1月10日(当会必着)です。

全国結核予防婦人団体連絡協議会事務局宛

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

TEL: 03-3292-9288



# 5月31日は世界禁煙デー

## プロゴルファーの東尾理子さんが禁煙大使に！

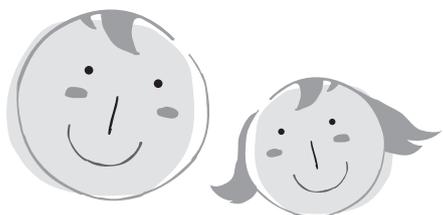
第26回世界禁煙デーは、5月31日（金）丸の内ビルディング1階マルキューブ（東京都千代田区）にて「たばこによる健康影響を正しく理解しよう」をテーマとし、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を積極的に行う記念イベントが開催されました。

この日、厚生労働大臣（対応は秋葉賢也副大臣）より東尾理子さんに禁煙大使が任命されました。

そして、イベント会場から喫煙家であるお父様の東尾修さんと電話でのトークショーも行なわれ「孫もできたことだし、孫に野球教えたいでしょ。健康的に過ごしてもらえるようにしてほしいと思って」と話す「分かりました、努力します」と力強く答えていらっしゃいました。

厚生労働省においても、平成4年から世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」として定め、各種の対策を講じてきています。

毎年5月31日は「世界禁煙デー」です。私達、結核予防婦人会も「たばこのない日（世界）」を強く意識し、「受動喫煙」など、たばこによる健康への影響について考え、大切な人の命を守るために呼びかけていきましょう！



# ヒロインが結核で命を落とす名作 「ラ・ボエーム」の 現代アフリカ版創作オペラ 東京公演についてのお知らせ



1830年代のパリを舞台にしたプッチーニの名作オペラ「ラ・ボエーム」が、南アフリカのタウンシップを舞台に、生まれ変わります！

ヒロインのミミは、プッチーニの原作と同じく、結核を患い命を落とします。プッチーニの音楽もほぼそのままにジャズやアフリカの伝統音楽もミックスした、マリンバとスティールパンの生演奏と、力強い歌声。躍動感あふれるリズムにダンスも加わり、貧困や病気と闘う若者たちの姿をダイナミックに描き出す、新しい「ラ・ボエーム」です。

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会はイサンゴ・アンサンブルによる「ラ・ボエーム」を後援しています。皆様この機会に是非ご覧ください。



平成25年  
2013年12月19日[木]—22日[日]  
東京芸術劇場プレイハウス



開場は開演の30分前

◎チケット料金(全席指定・税込)

S席	¥6,000
A席	¥4,500
高校生割引	¥1,000
25歳以下	¥2,500
65歳以上	¥5,500
セット券(S席)*	¥8,400

前売  
発売開始

2013  
10/12  
[土]

★セット券:「プッチーニのラ・ボエーム / Abanxaxhi」 & パリ国立シャイヨー劇場「トロカデロのドン・キホーテ」

◎チケット取扱

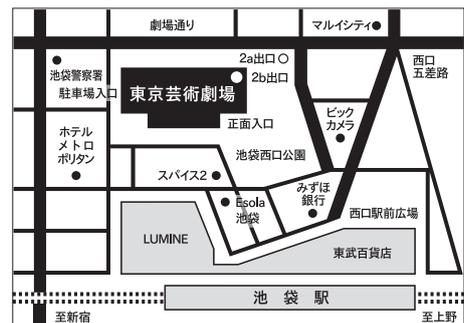
東京芸術劇場ボックスオフィス  
0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

PC.....<http://www.geigeki.jp/t/>  
携帯.....<http://www.geigeki.jp/i/t/>

チケットぴあ...0570-02-9999 (24時間・音声自動応答)  
<http://pia.jp/t/> (PC・携帯)  
[Pコード:431-181]

イープラス.....<http://eplus.jp/> (PC・携帯)

東京芸術劇場  
Tokyo Metropolitan Theatre



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 03-5391-2111  
JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。  
池袋駅地下通路2b出口で直結しています。